

凸レンズの働き (3)

【1】図A～Eは、凸レンズに物体を次第に近づけて行った様子を表している。それぞれの時にスクリーンにどのような像がうつるか、ア～オの中から正しいものを線で結びなさい。

A

物体 焦点 焦点 スクリーン

B

物体 焦点 焦点 スクリーン

焦点の2倍 焦点の2倍

C

物体 焦点 焦点 スクリーン

D

焦点 物体 焦点

E

焦点 物体 焦点

● ア

● イ

● ウ

● エ

● オ 像はできない

● ア

● イ

● ウ

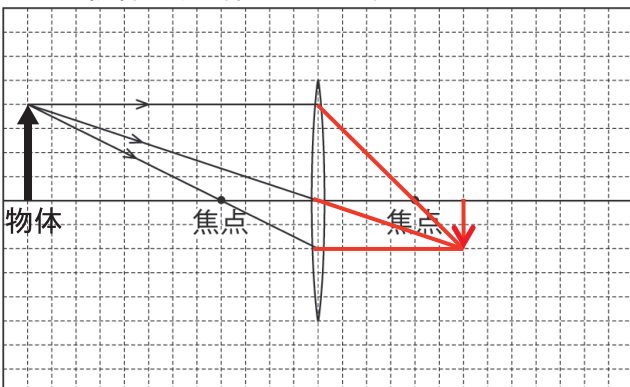
● エ

● オ 像はできない

実物の物体
凸レンズをのぞいて見た像 (スクリーンにはうつらない)

【2】次の図に凸レンズを通る光の進路の足りない部分を直線で、できあがる像を矢印で書きなさい。ただし、虚像と実際にはない光の経路を書く場合には点線で書くこと。

(1) 物体の先端から出る光



(2) 物体の先端から出る光

